

## 株主のみなさまへ

Information for Investor Relations



平成26年12月  
代表取締役社長 **いわたま のどか 兄玉和**

### 「車到山前必有路」の信念で全員の心と力を集結し、新たなる飛躍へ挑戦。 お客さまに「こちよさ」を提供します。

株主の皆さまには、平素より格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。当社グループは2014年9月をもって第119期第2四半期を終了いたしましたので、連結決算概況についてご報告するとともに、当社のセグメント別事業内容についてもご報告申し上げます、ご理解を賜りたいと存じます。

さて、当第2四半期連結累計期間における日本経済は、二年目に入ったアベノミクス効果により国内景気

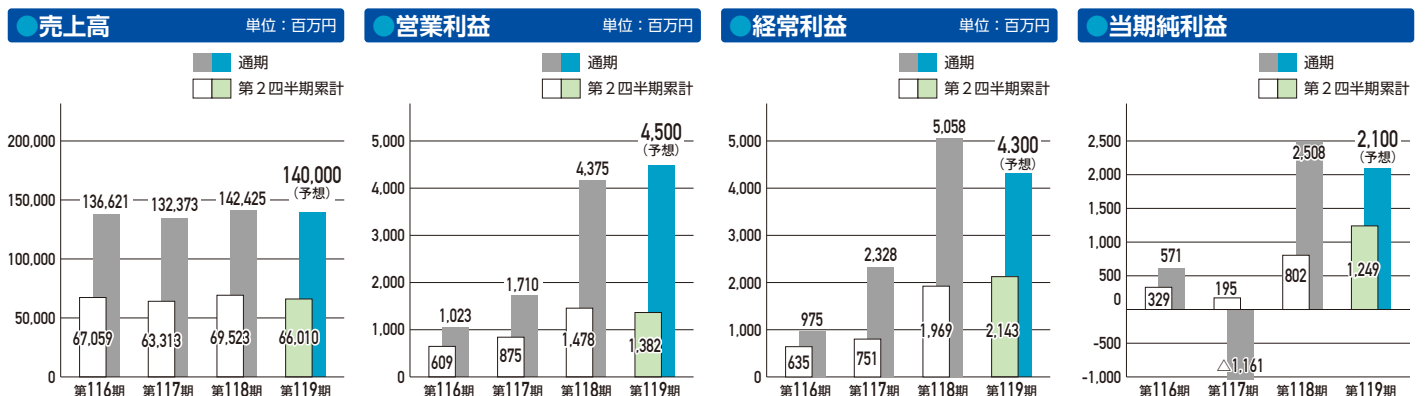
は緩やかな回復基調が見られたものの、消費増税に伴う駆け込み需要の反動や天候不順等による消費不振に加え急激な円安による原材料・エネルギーコストの高止まりなどの影響により依然として先行きの不透明な経営環境が続きました。

このような状況において、当社グループでは、本年度より新中期経営計画を展開し、『集中と結集』をキーワードに、「SBU（戦略的ビジネスユニット）戦略による既存事業

の選択と集中」「CFA（クロスファンクショナルアプローチ）活動による成長・新規事業の育成、創出」「成長戦略を支援する経営基盤強化」への取り組みを開始しました。これらの取り組みを通して、当社グループは、「こちよさ」をお客様に提供できるグローバル企業として社会に貢献してまいります。

株主の皆さまには変らぬご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

### 決算ハイライト



## 連結業績のご報告

### 連結貸借対照表(要約)

(単位：百万円、単位未満切捨て)

科目	平成25年9月30日現在	平成26年9月30日現在
<b>資産の部</b>		
流動資産	76,718	76,080
固定資産	89,753	92,285
有形固定資産	65,493	68,155
無形固定資産	1,569	1,387
投資その他資産	22,690	22,743
<b>資産合計</b>	<b>166,472</b>	<b>168,366</b>
<b>負債の部</b>		
流動負債	37,185	35,425
固定負債	19,102	19,541
<b>負債合計</b>	<b>56,287</b>	<b>54,966</b>
<b>純資産の部</b>		
株主資本	108,596	109,995
資本金	26,071	26,071
資本剰余金	14,064	14,061
利益剰余金	76,065	77,480
自己株式	△7,605	△7,617
その他の包括利益累計額	176	1,776
新株予約権	319	362
少数株主持分	1,092	1,265
<b>純資産合計</b>	<b>110,184</b>	<b>113,399</b>
<b>負債および純資産合計</b>	<b>166,472</b>	<b>168,366</b>

#### 流動資産 前年同期比6億円減少

現金及び預金2億円の減少、たな卸資産2億円の減少、流動資産その他10億円の減少(繰延税金資産の減少等)、受取手形及び売掛金8億円の増加などにより、全体では6億円の減少となりました。

#### 固定資産 前年同期比25億円増加

建物及び構築物6億円の増加、機械装置及び運搬具8億円の増加、有形固定資産その他12億円の増加(建設仮勘定の増加等)などにより、全体では25億円の増加となりました。

#### 流動負債 前年同期比17億円減少

支払手形及び買掛金7億円の減少、コマーシャルペーパーを含む借入金4億円の減少、流動負債その他8億円の減少(設備購入支払手形の減少等)などにより、全体では17億円の減少となりました。

#### 固定負債 前年同期比4億円増加

長期借入金6億円の増加などにより、全体では4億円の増加となりました。

#### 純資産 前年同期比32億円増加

利益剰余金14億円の増加、退職給付に係る調整累計額10億円の増加、その他有価証券評価差額金3億円の増加などにより、全体では32億円の増加となりました。

#### 売上高 前年同期比5.1%減少

機能ソリューション事業で17億円の減収、アパレル事業で17億円の減収となり、全体では35億円の減収となりました。

#### 経常利益 前年同期比8.8%増加

営業利益は若干の減益になりましたが、為替差益6億円の計上(前年は3億円)により、全体では1億円の増益になりました。

#### 営業活動によるキャッシュ・フロー 前年同期比58億円減少

減価償却費32億円、税金等調整前四半期純利益21億円などによる収入、たな卸資産23億円の増加、売上債権8億円の増加、法人税等6億円の支払などによる支出により、全体では4億円の収入となり、前年同期比58億円の減少となりました。

### 連結損益計算書(要約)

(単位：百万円、単位未満切捨て)

科目	平成25年4月1日から平成25年9月30日まで	平成26年4月1日から平成26年9月30日まで
<b>売上高</b>	<b>69,523</b>	<b>66,010</b>
<b>売上総利益</b>	<b>16,811</b>	<b>16,212</b>
販売費及び一般管理費	15,333	14,830
<b>営業利益</b>	<b>1,478</b>	<b>1,382</b>
営業外損益	491	761
<b>経常利益</b>	<b>1,969</b>	<b>2,143</b>
特別損益	△405	△26
<b>税金等調整四半期純利益</b>	<b>1,564</b>	<b>2,117</b>
<b>四半期純利益</b>	<b>802</b>	<b>1,249</b>

### 連結キャッシュ・フロー計算書(要約)

(単位：百万円、単位未満切捨て)

科目	平成25年4月1日から平成25年9月30日まで	平成26年4月1日から平成26年9月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,332	476
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,507	△5,324
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,254	5,043
現金及び現金同等物に係る換算差額	341	△243
現金及び現金同等物の増減額(△減少)	910	△47
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,980	6,709

## 株式の状況 (平成26年9月30日現在)

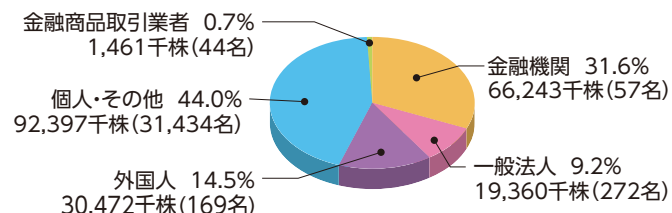
発行済株式総数 209,935,165株

◎自己株式(平成26年4月1日から平成26年9月30日)

取得 14千株(4百万円)  
処分 2千株(0.9百万円)  
期末18,324千株(7,617百万円)

◎単元株式数：1,000株

株主数 31,976名



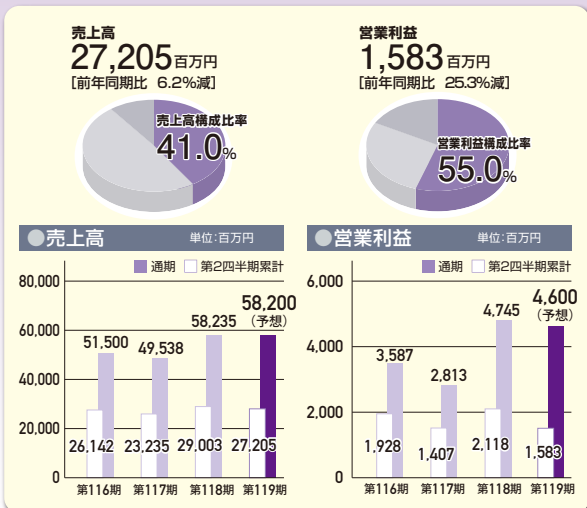
(注)円グラフは発行済株式総数に対する保有割合

大株主一覧(上位10名の株主)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社	27,714	14.46
株式会社三菱東京UFJ銀行	6,131	3.20
株式会社京都銀行	5,875	3.06
CBNY DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO	5,180	2.70
第一生命保険株式会社	4,422	2.30
損害保険ジャパン日本興亜株式会社	4,380	2.28
株式会社GSIクレオス	4,205	2.19
資産管理サービス信託銀行株式会社	4,124	2.15
日本マスタートラスト信託銀行株式会社	3,801	1.98
グンゼグループ従業員持株会	2,933	1.53

(注)当社は、自己株式18,324千株を保有しておりますが、上記大株主から除いております。また、持株比率は自己株式を控除して計算しております。

機能ソリューション事業



(注)セグメント合計は、セグメント間で発生した売上、利益を調整する前の数値です。

プラスチックフィルム分野は、依然として原材料価格及びエネルギーコストが高止まりする中、工業用途は堅調に推移しましたが、飲料及び食品包装用途は消費増税後の消費の冷え込み及び天候不順の影響から苦戦しました。エンジニアリングプラスチック分野は、OA機器の海外市場での回復

と一般産業用途の拡販により堅調に推移しました。電子部品分野では、パソコン向け透過型静電容量方式タッチパネルやスマートフォン向け半製品・フィルムの販売低迷と価格下落により苦戦しました。医療分野では、北米向けが伸長したほか、国内・中国での販売も順調に推移しました。

〈プラスチックフィルム分野〉



ペットボトルに使われている平板収縮フィルム

〈エンジニアリングプラスチック分野〉



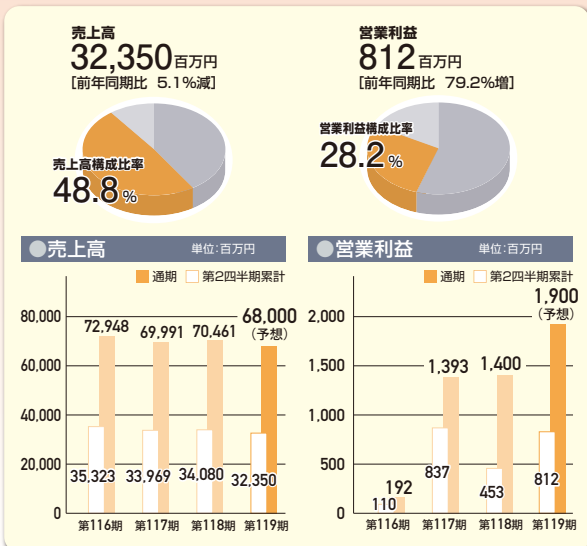
半導体製造用の超純水洗浄フィルター用資材

〈電子部品分野〉



パソコン向け透過型静電容量方式タッチパネル

アパレル事業



(注)セグメント合計は、セグメント間で発生した売上、利益を調整する前の数値です。

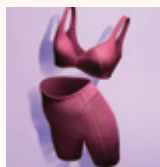
インナーウエア分野では、消費増税後の消費低迷や天候不順による売上減少に加え、円安や海外労務費高騰による原価高影響を受けましたが、昨年に続き事業構造改

革に取り組み、原価改善や固定費削減による収益改善を推進しました。レッグウエア分野は、レギンスパンツやブレンパンストなどが好調に推移しました。

〈インナーウエア分野〉



着ごちを感じる  
ごちよさ  
「Y.G」



“着ごち”を追求した  
「KIREILABO」

〈レッグウエア分野〉

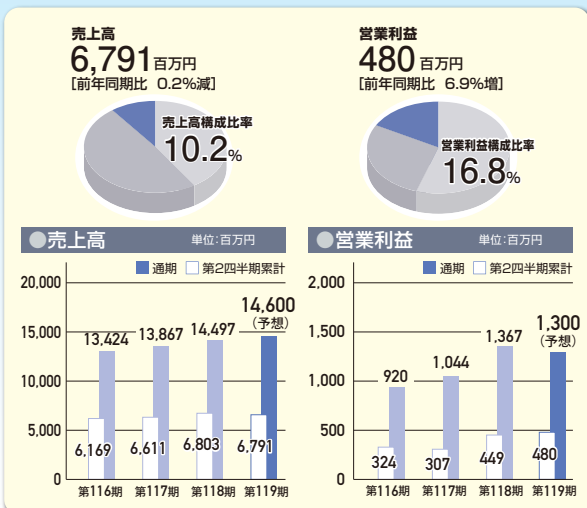


強く、やさしく、美しく。  
ストッキング  
「SABRINA」



ラクしておしゃれ  
レギンスパンツ「Tuché」

ライフクリエイティブ事業



(注)セグメント合計は、セグメント間で発生した売上、利益を調整する前の数値です。

不動産関連分野は、前年度下期より稼働開始した太陽光発電事業が堅調に推移し利益貢献しました。商業施設「グンゼ タウンセンター つかしん」は、消費増税影響を一

時受けましたが、その後は回復基調となりました。スポーツクラブ分野は、新規出店に伴う初期費用の影響を受けました。

〈不動産関連分野〉



地元のだんじり祭でにぎわうグンゼタウンセンター つかしん



堅調な太陽光発電事業

〈スポーツクラブ分野〉



全国18店舗で展開のグンゼスポーツクラブ

4/1 TUE 「CAN20」がスタート

中期経営計画「CAN20」がスタートしました。2020年までの7年間の計画期間のなかで集中と結集により、それぞれの分野で業界オンリーワンの地位を確立していきます。

4/17 TUE 「カンブリア宮殿」にグンゼが登場!

テレビ東京の経済番組「カンブリア宮殿」に取り上げられました。番組では肌着からプラスチック、電子部品、メディカルの各事業をはじめ、朝礼の様子や人材育成の取り組みまで幅広く紹介されました。



録画を見る社員

5/24 SAT 「あやべグンゼスクエア」がオープン!

「グンゼ博物苑」と「あやべ特産館」などがひとつになった「あやべグンゼスクエア」がオープンしました。地元の特産品の販売や、観光情報を提供するあやべ特産館には、オープン当日は約3000人の観光客で賑わいました。



あやべ特産館

運動会を開催!

東京・大阪の2地区で運動会を開催しました。大阪では26年ぶり、総勢452名が参加し、気持ちよい汗を流しました。従業員が一体感を持ち、風通しのよい職場を目指していきます。



大阪の運動会の様子

4/1 TUE QOL研究所を設立

今後の成長戦略の要である健康・医療事業を拡大するため、関連する情報や技術などをの資源を組み合わせ、市場対応力を強化することを目的として「QOL研究所」を設立しました。

8/12 TUE 韓国グンゼ株式会社設立

電子部品事業のさらなる拡大のため「韓国グンゼ」を設立しました。現地での生きた情報の入手や、顧客との密接な関係づくりを構築し、韓国市場の開拓を目指します。

電子部品

9/16 TUE グンゼスポーツクラブ岡山妹尾にオープン!

岡山県では2店舗目となる「グンゼスポーツクラブ岡山妹尾店」がオープンしました。最新マシンの導入やガーデンスタジオ、併設するカフェなど、特に若年層のライフスタイルにマッチした施設となっています。



スポーツクラブ

9/19 FRI アウトレットショップ倉敷にオープン!

岡山県倉敷市にある「三井アウトレットパーク倉敷」内に「グンゼアウトレット」が5ヶ月期間限定でオープンしました。グンゼで初めてのアウトレットショップで、パニティストッキング、レギンスパンツ、メンズ・レディスインナー、ソックスなどを取り揃えています。



アパレル

**株主優待** 1,000株以上保有の株主 **年2回** 毎年9月末・3月末

**9月末(中間期) 自社製品** 株式保有数と保有年数に応じてグンゼ商品を贈呈

株式保有年数	3年未満	3年以上5年未満	5年以上	
保有株数	1,000~2,999株	2,000円相当	3,000円相当	4,000円相当
相当金額分	3,000株以上	4,000円相当	6,000円相当	8,000円相当

長期保有でさらに優遇!

相当金額分を「グンゼオンラインストアで使用できるクーポン券」または「東日本大震災」復興支援の寄付【寄付先あしなが育英会他】にも変更できます

9/19 通販カタログ「セレストイル」**30%割引優待**

**株式保有年数の構成比推移**

2012年9月期: 3年未満 48%, 3-5年未満 12%, 5年以上 40%

2014年9月期: 3年未満 35%, 3-5年未満 18%, 5年以上 48%

長期保有株主さまが増加しています。

会社の概況 (平成26年9月30日現在)

社名	グンゼ株式会社
設立年月日	明治29年8月10日
資本金	26,071百万円
従業員	1,908名(単体) 7,362名(連結)
本店	京都府綾部市青野町膳所1番地
大阪本社	大阪市北区梅田二丁目5番25号 (ハービスOSAKAオフィスタワー) TEL(06)6348-1313
東京支社	東京都中央区日本橋二丁目10番4号 TEL(03)3276-8710

※取締役、監査役、執行役員などの変更はございません。  
※主な連結子会社の異動はございません。

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月下旬
株主総会・期末配当基準日	3月31日
公告方法	電子公告により、当社ホームページに掲載いたします。ただし、事故その他やむを得ない事由により電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
上場取引所	東京(第1部)
証券コード	3002
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
同連絡先	〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 TEL: 0120-094-777(通話料無料)